

# ユネスコ協会 ESD パスポート

グローバル・アクション・プログラム(GAP/P1参照)を推進するため、持続可能な社会を支える人材育成を目指す活動です。子どもたちのボランティア活動を推進するため、各地のユネスコ協会から学校を通じて子どもたちに発行しているのが「ESDパスポート」。ボランティア活動に参加した記録をパスポートに記し、その回数に応じて「活動認定証」を発行します。

## 2014年度の活動内容

2014年度は21のユネスコ協会を通じて約1万6000人の児童・生徒がESDパスポートを活用し、ボランティア活動に参加しました。ユネスコ協会を通して地域全体が学校と協働し、持続可能な社会づくりを目指しています。



## 事業担当者として 伝えたいこと

ESDパスポートは、生徒がボランティア活動を通して地域の課題に気づき、地域の人と活動していく中で、人との“出会い”や自然や社会との“つながり”を広げ、市民として成長することを応援していきます。年1回、体験発表会でその経験を発表しています。

## 2015年度に向けて

事業開始3年目の2015年度は、本事業の参加地域30を目標に、ESDパスポートを持ってボランティア活動に参加する児童・生徒の数を増やしなが、さらにボランティア活動の機会の充実を目指していきます。

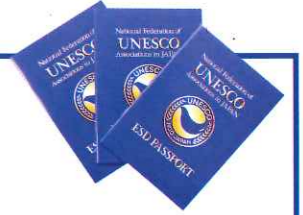
## 教育者からのメッセージ

### ESDで身につく力

持続可能な開発のための教育(ESD)は、知識だけではなく、価値観や生き方の変容をも迫る教育です。本活動では、ボランティア活動に参加することを通して、他者と協力する態度、つながりを尊重する態度、進んで参加する態度、コミュニケーション力、問題解決力など、21世紀に生きてこれからの社会を担う若い世代に必要な価値観や行動様式、能力を身につけることを目指しています。

日本ユネスコ協会連盟理事  
北海道教育大学副学長 大津和子

# ESDパスポートを持って地域のボランティア活動に出かけよう!



## 活動を始める前は・・・



ESDパスポートでボランティア活動をする前は、自分の地域が好きではなかった。地域に対してどう関わっていいかわからなかった。

## [活動例]

### 岡山県美作高校の場合

過疎・高齢化で荒廃した棚田の再生ボランティアに参加。棚田の田植え、稲刈り、石垣の除草をしながら、農業の楽しさや大変さを学んだ。



## 活動後は・・・

### 生徒の声

地域が好きになり、地域のために活動したいと思うようになった。



いろんな人と触れ合うことの大切さ、心でつながることの大切さを学んだ。



いのちの大切さを学び、自分が多くの人びとによって生かされていることを実感。

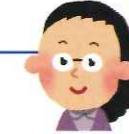


### 先生の声

生徒一人ひとりが、関心や課題を考えるようになった。



生き方を発見し、自信につながったようだ。



ボランティア活動から、学校では得られないさまざまな学びがあった。



## 協力企業からのメッセージ

体験発表会に参加させていただき、中学生・高校生のみなさんが工夫しながら楽しくボランティア活動に取り組まれている様子に大変感心しました。身の回りの小さな活動の一つひとつが、結果として大きな力となります。このようなボランティア活動を通じて社会との接点を持ち、考える力やコミュニケーション能力を身につけていただきたいと思います。

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社  
森下誠 広報室長

